

情報工学府博士後期課程 教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）

（１）知識・理解

【最先端の専門知識・理解】

情報科学・情報工学の高い専門性に基づいて、情報技術の発展に有用な先端的な基盤技術を開発したり、いろいろな分野の科学技術との融合により実在する種々の課題に対処できる革新的な情報システムを構築したり、更に IT 技術の将来を先取りし社会の仕組みまでを変革するグローバルリーダーとなり得るような、最先端の情報工学的アプローチを総合的に取り扱うことのできる高度専門技術者・研究者としての知識を修得させる教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

情報科学・情報工学における研究開発の社会的波及効果を理解できるようにするための教育を実施する。

（２）汎用的技能

【最先端の実践的問題解決スキル】

実践的な問題解決能力を有し、最先端の研究開発に必要な情報科学・情報工学の高度な技術を修得させる教育を実施する。

【高度なプレゼンテーション力】・【コミュニケーション力】

情報科学・情報工学の研究開発に必要な高度なプレゼンテーション能力、及び外国語による十分なコミュニケーション能力を修得させる教育を実施する。

（３）態度・志向性

【技術者の態度・志向】・【自律性】・【チームワーク力】

未知の専門的課題に対して、情報工学を用いたアプローチによりその解決に向けて努力する意思を持ち、チームのリーダーとして課題解決に取り組むことができる能力を身につけさせるための教育を実施する。